



33号の主な内容

- ラオスの給水プロジェクト
- ハビタット支援コンサート
- ハビタット協力委員会 ■ハビタットひろば
- 世界ハビタットデー2011 テーマ
- 職員インタビュー (成田さん) ほか

第 **33** 号
<http://cnhf.nngo.jp>

■ラオスの給水プロジェクト

ハビタット福岡市民の会では、11月23日から11月30日にラオスのスタディーツアーを行います。そこで、7月15日の定例会で、国連ハビタット職員のローウィーさんにラオスについてお話を伺いました。



Ms. Lowie Rosales

ラオスは、ピエンチャンを首都とする人口約650万人の国で、世界でも最も貧しい国の1つです。ほとんど工業が発達しておらず、外国からの支援に頼っています。近年では経済成長率が年に6%増加しているようですが、開発が進むにつれて環境が変わっていく様を人々は混乱する気持ちで見つめているとローウィーさんはおっしゃっていました。開発は少しずつ進んでいるようですが、まだ人々の生活に欠かせない衛生的な水の供給は整っていません。例えば、ラオス全土の小学校で給水設備と衛生設備(トイレ)の両方が整っているのはわずか24%にすぎません。日本ハビタット協会はシエングエン地区で5つの学校のトイレ、3つの学校の給水施設の資金援助を行い、完成させました。現在でも22のプロジェクトが進行中のように、まだまだ支援の行きとどいてない場所が多々あるとローウィーさんはおっしゃっていました。11月のラオススタディーツアーでは、完成した給水施設を見るために現地の学校を訪れる予定です。そこで、私たちは支援が人々の生活環境にどのように影響を与えているのかを実際に体験し、またこれからどのような支援が必要とされるのか考えるきっかけとしていきましょう。(清水)

ラオススタディーツアー旅程表

11月23日 (水)	福岡 11:35 発 バンコック 14:55 着 バンコック 19:50 発 ピエンチャン 21:00 着 ピエンチャン泊	
11月24日 (木)	ハビタット事務所訪問 ピエンチャン観光 ピエンチャン 16:30 発 ルアンパバン 17:10 着 ルアンパバン泊	
11月25日 (金)	ハビタット給水事業見学 ルアンパバンフィールドトリップ ルアンパバン泊	
11月26日 (土)	ルアンパバン観光(世界遺産) ルアンパバン 19:10 発 ピエンチャン 19:50 着 ピエンチャン泊	
11月27日 (日)	Aグループ 車で南へ移動 サラワン or パクセ泊	Bグループ ピエンチャン観光 ピエンチャン 21:45 発 バンコック 22:50 着
11月28日 (月)	南方をフィールドワーク サラワン or パクセ泊	
11月29日 (火)	ピエンチャンへ移動 Laos-Japan Human Resource Development Institute(National University of Laos)訪問 ピエンチャン泊	
11月30日 (水)	ピエンチャン観光 ピエンチャン 21:45 発 バンコック 22:50 着	
12月1日 (木)	バンコック 00:50 発 福岡 08:00 着	

■ハビタット支援コンサート

今年で23回目を数えるニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル日本ツアー2011公演が、7月20日にアクロス福岡のシンフォニーホールで行われた。



この公演は、アジア太平洋子ども会議・イン福岡と国連ハビタット福岡本部を支援するコンサートとして福岡で毎年パナソニックが主催して行われている。

今年の公演は、東日本大震災の復興に元気を与える上でも有意義な8回の日本ツアーとなっている。また、前日は台風が日本に接近し福岡に来れるか心配されたが、無事開催された。

印象に残った演奏としては、モーツァルトの交響曲第41番ハ長調 K.551(ジュピター)で、モーツァルトの交響曲41作品中最後の傑作で、緻密な構成で壮大な作品を素晴らしい響きで演奏してくれ、感動した。



アンコール曲では、フォーレの「レクイエム」とエルダー作曲の「威風堂々」を演奏してくれた。鎮魂的な曲と堂々とした勇気を与えるような曲だった。(佐竹)



コンサート会場では国連ハビタットへの募金活動も行われた

■ハビタット協力委員会懇親会

8月5日(金)18:30より、福岡市中央区白金の県知事公舎において、協力委員会の皆さん、国連ハビタット福岡本部職員、その他関係団体の皆さん方の出席の中、国連ハビタット福岡本部協力委員会懇親会が行われた。ハビタット福岡市民の会からも多数参加した。



市民の会のメンバーは、小川福岡県知事、高島福岡市長、松尾九州電力会長、野田国連ハビタット福岡本部長、マリ・クリスティーヌ国連ハビタット親善大使など、普段お話しできないような方々と懇談し、有意義な時間を過ごした。(牟田)

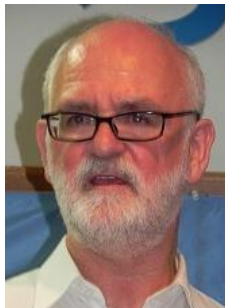
■ハビタットひろば

国連ハビタットのスタッフが、世界での活動を紹介する「ハビタットひろば」が、国連ハビタット福岡本部と(財)福岡県国際交流センターによる共同レクチャーシリーズとして福岡市天神のアクロス福岡3階の「こくさいひろば」で偶数月に行われている。

■第2回 2011年6月1日「ミャンマー」

2008年のサイクロン・ナルギスにより被災した復興事業がテーマとなり、上級居住専門官のヤン・メイウィッセン氏による講演があった。

2008年5月2日に発生したサイクロン・ナルギスはミャンマーを直撃し、死者・行方不明者数約13万4千人以上、さらに50万戸以上の家屋が破壊された。都市部はしっかりとした造りの家が多かったが、農村部では木と竹で作られたシンプルな家が多いため被害が大きくなった。また生活用水は雨水に頼っていることから水不足となった。ミャンマーは軍事政権で国際社会から孤立してい



るため、支援を受けることが難しくさらに被害が拡大した。そこでシェルターや安全な水の供給などの復興支援活動が求められ、国連ハビタット福岡本部は日本政府支援のもと「Community Water Supply and Sanitation Recovery Project」の活動を始めました。このプロジェクトでは人々の自立を支えコミュニティを強化しながら水と衛生施設の整備が行われました。

「People's Process」の手法により、段階を経ながら事業が行われました。コミュニティの中で何が必要なかを話し合い、決定し、そのコミュニティに対して契約を行ない、その後住民たち自ら事業を行っていくため、必要な技術を習得することができますし、メンテナンスなどは自分たちで行うこととなります。写真を交えながらのヤンさんのお話により、来場された方々は真剣な面持ちで熱心に聞き入っていました。(諸藤)

今回講師をされた、ヤン・メイウィッセン氏は、国連ハビタット福岡本部に設立当初(1997年)より勤務されていましたが、7月20日、ケニア・ナイロビで国連ハビタットの 아프리카地域本部長に就任するため、家族とともに福岡を離られました。

■第3回 2011年8月1日「世界の自然災害を語る」

野田順康福岡本部長が世界と日本の防災対策の経緯について講演した。

世界の自然災害等については、1960年代までは国連機関、政府、赤十字などが個別に対応していたが、1970年にバングラディッシュのサイクロンで



約50万人が死亡したことにより、1971年UNDRO(国連災害救済調整官事務所)が設置された。1992年DHA(国連人道問題局)に統合されたが、それを母体として1997年にはOCHA(国連人道問題調整事務所)が設立され、様々な自然災害、紛争災害の場で人道援助活動を効果的に行えるようにするために、他の国連・国際機関、政府やNGOsと協力して調整をしている。野田本部長も若い時、ある災害でDesk Officerに指名され、権限を一手に任せ活動した経験があるとのこと。最近の統計では、36%の災害発生件数、89%の被災者数がアジアで起きている。スマトラ沖地震・津波、四川省地震、ミャンマーサイクロンなどだ。

日本の防災、危機管理については、戦前は危機管理の整った国だったが、敗戦で危機管理を正面から議論できなくなっている。昭和34年に制定された災害対策基本法に多くを依存してきた。中央防災会議、防災基本計画などがある。世界から、治山、治水などの防災対策先進国との評価を受けているが、地震対策はまだ難しい状況だ。中央防災会議はメンバーが多く、重い組織となっているため、現場の判断が難しく、意志決定が遅くなる嫌いがある。

東日本大震災の復興への提言として原則7つある。

- ① 訓を次世代に伝承
- ② 大地震からの復興と日本再生の同時進行
- ③ 国民全体の連帯と分かち合いによって復興(絆)

などである。野田本部長は図表や写真を使って丁寧に説明した。(佐竹)

■世界ハビタットデー2011テーマ

毎年国連では、10月の最初の月曜日を、「世界ハビタット・デー」と指定しています。今年は10月3日とその日にあたり、メキシコに世界各国からの代表が集まり、都市問題について話し合います。会議では、毎年テーマを決めて、世界の都市の現状、特に基本的人権としての「住まい」を人々が享受しているかを省みます。そして世界の為政者は現状の改善のために、何をしていく責任があるかを検討します。

今年の「世界ハビタット・デー」のテーマは、『都市と気候変動』です。「気候変動」は21世紀の重要な開発課題であり、いずれの都市においても、10～30年先の「気候変動」による影響を予測することが難しくなっています。世界の人口のほとんどが都市に住む今、気候変動によってもたらされる災害の影響を最も受けやすいのは「都市」です。同時に、「都市」が気候変動に及ぼす影響の大きさも忘れてはなりません。(和訳：轟)

<英語原文>

World Habitat Day 2011

The United Nations has designated the first Monday of October every year as World Habitat Day. This year, World Habitat Day will be celebrated on 3 October 2011 and the Global Celebration will be hosted by the Government of Mexico. The idea is to reflect on the state of our towns and cities and the basic right of all, to adequate shelter. It is also intended to remind the world of its collective responsibility for the future of the human habitat.

The United Nations chose the theme Cities and Climate Change was chosen because climate change is fast becoming the preeminent development challenge of the 21st century. Indeed, no-one today can really foresee the predicament in which a town or city will find itself in 10, 20 or 30 years time. In this new urban era with most of humanity now living in towns and cities, we must bear in mind that the greatest impacts of disasters resulting from climate change begin and end in cities. Cities too have a great influence on climate change.

ハビタットとは、元来「居住、生息地」を意味する言葉で、そこから、世界の都市化や居住の問題に取り組む「国際連合人間居住センター」(本部はケニア・ナイロビ)の通称として使用されている。

人間居住委員会の勧告により、1985年の国連総会で10月第1月曜日を「世界ハビタット・デー World Habitat Day」に制定した。

世界ハビタット・デーがスタートした1986年は、初の「ハビタット：国連人間居住会議」(1976年、カナダ・バンクーバー)の10周年に当たった。

昨年のテーマは、「Better City, Better Life～住民主体の都市づくり～」

—昨年のテーマは、「私たちの都市の未来計画」

■職員インタビュー

8月4日(木)国連ハビタット福岡本部を訪れ、職員の成田さんへインタビューを行った。

○出身はどこですか？

岐阜県各務原(かがみはら)市です。以前は岐阜で勤めていましたが、妻の故郷である福岡に移り住みました。福岡の印象は食べ物がおいしい、物価が安い、そして何より人がオープンであたたかく、都会と田舎が共存していて住みやすいということです。

○大学では何を勉強しましたか？

法学部で法律、憲法などを勉強しました。

○趣味は何ですか？

家族と買い物や旅行に行くことです。個人的には旅行は特に好きで、九州や四国一周をしたり、海外はマレーシアやバリ島などアジアの国はほとんど旅行しました。

○モットーは何ですか？

「継続は力なり」です。

○なぜ国連ハビタットに赴任されましたか？

これまでは福岡県庁や福岡県内の自治体で雇用政策、総合計画、企画財政、県立大学管轄などを担当していました。今回、ハビタットへの2年間の出向の声がかかり、5月から赴任しました。

○ハビタットではどんな仕事を担当していますか？

調整官をしています。内容は、協力委員会、行政、大学の調整です。九州大学大学院と連携し海外事務所でのインターンの調整、西南大学・福岡大学での講義、小中学校で出前講座をしています。

○ハビタットでの仕事の抱負は何ですか？

福岡はモデル都市になる素晴らしい街です。そんな福岡をアジアにPRしたいです。また、福岡に国連機関があることを知っている方は多くありません。国連ハビタットが福岡にあることを、世界ハビタットデーシンポジウムやアジアジャーナリスト会議など国際会議開催を通してPRしていきたいと思っています。

○ハビタットにきて、何か得たものや見方が変わったことなどありますか？

同僚がアフガニスタンに赴任し危険な場所であるにも関わらず、生き活きと仕事をしてきたことから、様々な価値観があるのだと思いました。日本のことだけをみる、考えるのではなく、これからは外をもっとみていく必要があると感じています。

○今後の抱負、夢は何ですか？

様々な場所で人の役に立つ仕事をしたいと思っています。現在、九州大学ビジネス・スクールに通っていますが、起業もその手段の一つだと思うようになりました。学生の年代は様々で、よい刺激となっています。

○一番大切なもの、ことは何ですか？

一番大切なものは家族です。仕事、ビジネススクールと大変ですが、家族と過ごす時間を大切にしています。(古賀)



佐竹 成田さん 古賀 中川

■今後のスケジュール

9月15日(木) 19:00~21:00 定例会
ハートフルフェスタ打ち合わせおよび準備

10月16日(日) 11:00~16:30
ハートフルフェスタ福岡 2011
会場：福岡市役所西側ふれあい広場
主催：福岡市人権啓発センター
入場無料、少雨決行

市民一人ひとりの人権が真に尊重される社会を目指し人権問題への理解を深める事を目的としたハートフルフェスタ福岡が今年も開催されます。当市民の会もブース出展を行い(交流ブース41番)、日本ハビタット協会福岡支部とその活動の紹介を今年も行っていく予定です。

当日は、お子様がワークショップへの参加や手伝いでポイントのためおもちゃに換えれる「かえっこパズル」や、琉球國祭り太鼓、SPEEDの今井絵里子さんトークショー、元岡中学校吹奏楽部による演奏、バルーンアート、絵里ダンス、サンリオキャラクターショー等の楽しいイベントも同時開催されます。ぜひお子様と一緒にご来場ください。

10月20日(木) 19:00~21:00 定例会
地球市民どんたく打ち合わせおよび準備

11月5日(土)~6日(日)
地球市民どんたく 2011

会場：アクロス福岡 2F 交流ギャラリー
ハビタット福岡市民の会は日本ハビタット協会と共に今年で13回目を迎える「地球市民どんたく2011」にブース出展します。どうぞ皆さまお気軽にお越しください。

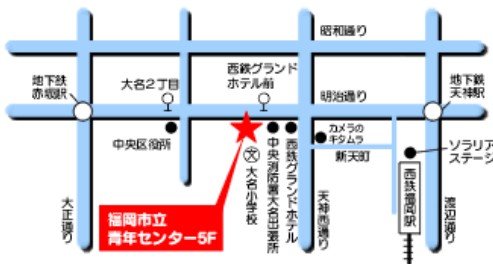
11月17日(木) 19:00~21:00 定例会
ニュースレター34号発行打ち合わせ
スタディツアー打ち合わせ

11月23日(水)~12月1日(木) Aグループ
~11月28日(月) Bグループ

ラオスタディツアー
12月8日(木) 19:00~21:00 定例会
ニュースレター34号発送作業

12月15日(木) 19:00~
国連ハビタット福岡本部との交流会

定例会の会場は、原則として福岡市 NPO ボランティア交流センター「あすみん」(下図)で行います。定例会後、希望者による食事会も行っています。参加お待ちしております。



編集後記

今年の夏は、猛暑が続いて、熱中症にかかる人が多かったですね。一方、原発事故により太陽熱・太陽光の恵みも見直して最大限利用するようにしたいもの。でも晴れたり曇ったり雨だったり安定しないエネルギーなので、蓄電技術の発達が望まれるところです。

11月は、太陽いっぱいラオスの旅、いまから待ち遠しく思っています。(牟田)



■事務局からのお願いとお知らせ

●ラオスタディツアー参加者募集

参加締切は、第一次 8月末
第二次 9月20日
第二次締切分は、旅行代金がかかることがあります。また座席が取れずに、お断りすることもあります。お早目の申し込みをお待ちしております。

●年会費の納入のご協力を(年会費まだの方)

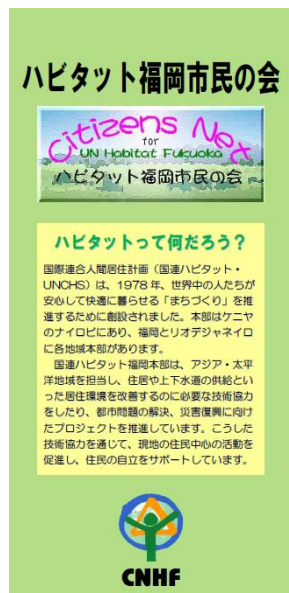
年会費 2000円 (学生:1000円)
会費・支援金の納入は、下記口座へお願いします。
郵便振替口座 01730-0-78434
加入者名義 ハビタット福岡市民の会

●会員およびボランティアスタッフ募集

ハビタット福岡市民の会の運営や活動のサポートに携わっていただく、ボランティア(運営委員や会員)を募集しております。(定例会などへの飛び入り参加歓迎)国連ハビタットの活動に興味をお持ちの方、大学生などとくに若い方々の積極的な参加をお待ちしております。お問い合わせは、下記連絡先へ。

●リーフレットができました

ハビタット福岡市民の会の会員やスタッフの勧誘国連ハビタットの活動紹介などにご活用ください。当リーフレットは、イムズ8F「レインボープラザ」、大名の福岡市NPO ボランティアセンター「あすみん」、アクロス福岡 3F「こくさいひろば」に置いています。郵送も承ります。必要部数を下記お問い合わせ先へご連絡ください。



●東日本大震災復興支援募金

1000円のご寄附をいただくとご希望のTシャツを差し上げます。種類(A,B,C)、サイズ(S,M,L)、希望数を下記お問い合わせ先へお知らせください。



事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先は：

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46
福岡市NPOボランティア交流センターあすみん連絡ボックス2号

お問い合わせは：
TEL 090-6770-2481(代表 牟田)
FAX 0942-41-2080
E-mail muta@ktarn.or.jp
HomePage http://cnhf.nngo.jp

